



MOROYAMA PHOTO SNAP NEWS

貴重な体験ができました

西入間少年少女消防団が「少年消防クラブ
交流会」の全国大会に出場しました



本橋拓磨くん
(毛呂山小5年)

西入間少年少女消防団の小学5・6年生たちが、8月1日から千葉県浦安市で開催された「少年消防クラブ交流会」全国大会に出場しました。

8月3日に大会最終日を終え、お疲れのところ毛呂山町役場に結果を報告しに来てくれました。「初出場だったけれど、56クラブ中20位という良い成績を残せて良かった」と大役を終え、リラックスした表情で語ってくれました。

また、技術を競うだけではなく、避難所体験として自分たちで段ボールハウスを作って宿泊したり、制限時間内に入浴を済ますなど、もしもの時に役立つ経験も出来て、大変実りの多い夏休みとなったようです。

おかえりなさい！

福田稔さんが海外のボランティア活動から
帰国しました



福田稔さん

JICA（国際協力機構）ボランティアの日系日本語学校教師として、平成28年6月からブラジルに派遣されていた町内在住の福田稔さんが今年の6月に帰国されました。

「日本語学校の生徒たちは、日系人に限らず日本への憧れが非常に強いと感じました。日々の生活で印象的だったことは『日系社会』の団結力の強さ！日本文化を大切に受け継いでいこうとする姿勢には頭が下がりました。」とお話ししていただきました。

海外で日本語を教えることが長年の夢だったという福田さん。今後も世界を舞台にさらなるご活躍を期待しています。

空き家の利活用、始まる！ NPO が毛呂山にやってきた

東洋大学理工学部建築学科が主催する「タウンミーティング」を開催

7月24日、東洋大学の学生さんが主催する「まちづくりタウンミーティング」が開催されました。

東洋大学の毛呂山町における空き家の利活用を軸にした調査・研究は、今年で3年目を迎えます。今回は、実際に毛呂山町にある空き家に移住した、森の蘇りを目指すNPO「フォレストーズプラス」の拠点づくりを題材に、エリアに好循環をもたらす建物とまちのリノベーションプランが提案されました。麻原酒造さんに会場をご提供いただき、地元商店のご協力を得ながら、当日は、50人を超える来場者がありました。学生さんたちの研究成果は、多くの方に興味深く熱心に聞き入れられました。



見て、感じて、学ぶ

夏休み子ども体験教室

7月30日・8月2日・7日に公民館主催夏休み子ども体験教室を開催しました。それぞれ浦山ダムや、国立科学博物館、地球観測センターを見学しました。

台風が去ったあとだったため、放水を見ることができました。

初めて見る恐竜の骨に興奮！



小惑星探査機「はやぶさ」の操作体験！

地元チームが3位入賞！

【第15回国体記念毛呂山町長杯 小学生女子ソフトボール大会】

7月14日・21日・22日の3日間、大類ソフトボールパークで小学生女子ソフトボール大会が開催されました。県内の競合15チームが参加し、熱戦の結果、地元の毛呂山ウイングスが見事3位に入賞しました。



日中友好を願い、桜を植え続ける

しばた 新發田豊さんが「江蘇省友好の使者」の称号を授与されました



町内在住の新發田豊さんが、中国の「江蘇省人民対外友好協会」から「江蘇省友好の使者」の称号を授かりました。

新發田さんは1986年に結成された「日中共同建設桜友誼林保存協会」の2代目会長をしておられます。この協会は、日中戦争を経験した初代会長の長谷川清巳さんが、「不幸な歴史を二度と繰り返さない」という思いを胸に、平和のシンボルである桜を植えることを提案し結成されました。それから30年経つ今も、中国無錫市に桜を植えるなどの活動を続けて行っています。「無錫市は江蘇省の中でもとても

風光明媚なところです。中国に旅行に行こうという人は少ないかもしれませんが、この活動を多くの人に知っていただき、少しでも日中関係について考えていただけたら嬉しい」と新發田さんは語っておられました。

